

2024 年 12 月 10 日
西日本旅客鉄道株式会社

山陰線 末恒駅～宝木駅間で線路脇のバラストが流出した事象の原因と対策について

山陰線 末恒駅～宝木駅間で線路脇のバラストが流出した事象について、原因が判明しましたので対策とあわせてお知らせします。

お客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

1 発 生 日 時

2024 年 9 月 28 日（土） 14 時 50 分頃

2 発 生 場 所

山陰線 末恒駅～宝木駅間 ※宝木駅から約 2.1 km 末恒駅寄り

3 概 況

9 月 28 日（土）14 時 50 分頃、一般の方から弊社お客様センターに「末恒駅～宝木駅間で線路のバラスト（砂利）が少ない場所がある」旨の連絡があったため、現地に社員を派遣し確認したところ、バラストが流出していたことが判明しました。その後、復旧作業を実施し 17 時 54 分に速度を落として運転再開しました。

※お客様、付近を通行中の方にお怪我はありませんでした

4 列 車 影 響

〈運 休〉 15 本（下り 8 本、上り 7 本）

〈遅 れ〉 22 本（下り 12 本、上り 10 本） 最大約 430 分

〈影響人員〉 約 1,500 人

5 原 因

橋りょうと盛土を繋ぐ線路脇の桁が経年劣化等によりズレ落ちたためです。

6 対 策

当該箇所の桁を擁壁構造等で再構築します。

【参考】同種構造箇所の写真

- ① 盛土（線路を支えるために土を盛り上げて構築した箇所）
- ② 盛土と橋りょうを繋ぐ線路脇の桁
- ③ 橋りょう

